



平成 18 年 10 月 2 日

各 位

会 社 名 株式会社フジ
代 表 者 名 代表取締役社長
尾 崎 英 雄
コード番号 8278 東証・大証第一部
問 合 せ 先 取締役人事部長兼総務部長
田 中 正 二
T E L (089) 922 - 8112

中間期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 18 年 4 月 17 日公表の平成 19 年 2 月期（中間期）の業績予想を、下記のとおり修正いたします。

なお、平成 19 年 2 月期（通期）の業績予想に変更はありません。

記

1 . 平成 19 年 2 月期（中間期）業績予想数値の修正（平成 18 年 3 月 1 日～平成 18 年 8 月 31 日）

【連結】

（単位：百万円）

	営業収益	経常利益	中間純利益
前回発表予想（A）	166,000	1,700	700
今回修正予想（B）	165,600	2,220	1,110
増減額（B - A）	400	520	410
増減率（％）	0.2	30.5	58.5
前期実績 （平成 18 年 2 月期中間期）	161,841	1,070	648

【単体】

（単位：百万円）

	営業収益	経常利益	中間純利益
前回発表予想（A）	160,000	1,300	500
今回修正予想（B）	159,380	1,690	810
増減額（B - A）	620	390	310
増減率（％）	0.3	30.0	62.0
前期実績 （平成 18 年 2 月期中間期）	155,966	582	418

2. 修正の理由

当中間期におけるわが国経済は、製造業を中心に企業収益は比較的好調に推移し、景気は緩やかに回復基調を辿っています。

このような環境の中、「現場営業力の強化」に向け地域マーケットへの対応力強化や鮮度向上に努めました。また、既存店の活性化・効率化を図るため、衣料・住関連部門の拡縮や食品売場の改装を行いました。しかし、営業収益については、業態を越えた競争の激化や天候不順の影響により当初の計画を下回る見込みとなりました。

一方、経常利益、中間純利益については、設備投資等の初期投資削減、販売促進の効果性の追及、作業システムの見直し等、諸経費の削減に努めた結果、当初の計画を上回る見込みとなりました。

(ご参考)

平成 19 年 2 月期 (通期) 業績予想 (平成 18 年 3 月 1 日 ~ 平成 19 年 2 月 28 日)

【連結】

(単位:百万円)

	営業収益	経常利益	当期純利益
平成 19 年 2 月期	330,000	4,700	2,200

【単体】

(単位:百万円)

	営業収益	経常利益	当期純利益
平成 19 年 2 月期	318,000	4,000	1,800

平成 19 年 2 月期 (通期) 業績予想 (平成 18 年 4 月 17 日発表) に変更はありません。

以 上

(注) 上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の経済情勢等、様々な要因により予想数値と異なる場合があります。